

### 第3 回災害リハビリテーションコーディネーター研修会参加報告

船越政範（とちぎリハビリテーションセンター）

日時：平成25 年12 月21 日、22 日

場所：新宿パークタワー23階エーザイ会議室

主催：大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

（JRAT：Japan Rehabilitation Assistance Team）

日本リハビリテーション医学会関東地方会を通じて栃木県リハビリテーション談話会に参加の要請があり、談話会の代表として県立のリハビリテーションセンターから参加させていただいたので報告する。

主催の『大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会』は『旧東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体』が名称変更した団体である。平成25年2月の第1回から平成26年3月の第4回研修会に各都道府県において、災害リハビリテーション対応の中心的役割を担われる予定の方の参加が求められた。今回参加させていただいた第3回の研修会には12府県（青森、福島、栃木、山梨、富山、京都、兵庫、岡山、徳島、宮崎、大分、佐賀）からの参加があった。

東日本大震災における支援活動を通じて、災害発生早期から関連職種による災害対応リハビリテーション活動が、組織的にできる体制作りが必要であると認識されている。今回の研修後の目標として、啓発期には医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護支援専門員等による都道府県ごとの多職種代表者による組織が立ち上げられ、行政担当者との連携が可能となることとされている。今回の研修会に栃木県の理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会の代表者各1名と当センターから医師・看護師が参加した。平成26年3月13日の栃木リハビリテーション談話会で研修会の報告を行い、栃木県災害リハビリテーション連絡協議会（Tochigi JRAT）を理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、栃木リハビリテーション談話会を関連団体として立ち上げ他職種の団体ならびに行政の関わりもお願いしていくことを報告し了承された。